



2026 年 10 月 30 日
報道関係者各位

大阪医科薬科大学

大阪医科薬科大学が実施した医師主導治験の成果をもとに BNCT 治療システム、再発髄膜腫への適用拡大が承認

難治性の再発髄膜腫に新たな治療選択肢



学校法人大阪医科薬科大学（大阪府高槻市、理事長：佐野浩一）で実施した医師主導治験「高悪性度髄膜腫に対する加速器 BNCT による医師主導治験」の成果をもとに、住友重機械工業株式会社が、BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）治療システム「NeuCure®」および BNCT 線量計算プログラム「NeuCure® ドーズエンジン」について、「再発髄膜腫」を使用目的に追加する医療機器製造販売承認事項一部変更承認を取得しました。

髄膜腫の多くは良性の経過をたどりますが、発生部位や腫瘍の性質によっては治療が難しく、再発を繰り返す場合もあります。特に、手術や放射線治療などの既存治療後に再発した症例では、治療の選択肢が限られることが課題となっています。

BNCT は、ホウ素薬剤を取り込んだ腫瘍細胞に中性子を照射し、ホウ素と中性子の反応によって生じる粒子を利用して腫瘍細胞を選択的に破壊する治療です。

今回の承認により、再発髄膜腫に対する新たな治療選択肢として BNCT が加わることになります。治療選択肢が限られていた患者さんに対し、病状やこれまでの治療経過に応じた治療を提供できる可能性が広がることが期待されます。





●医師主導治験について

「高悪性度髄膜腫に対する加速器 BNCT による医師主導治験」

jRCT:jRCT2051190044

<https://jrct.mhlw.go.jp/latest-detail/jRCT2051190044>

●承認対象となった医療機器

BNCT 治療システム NeuCure®

承認番号:30200BZX00084000

一般名称:ホウ素中性子捕捉療法用中性子照射装置

BNCT 線量計算プログラム NeuCure® ドーズエンジン

承認番号:30200BZX00083000

一般名称:ホウ素中性子捕捉療法用治療計画プログラム

大阪医科薬科大学は、今後も大学病院としての臨床基盤と研究力を生かし、企業をはじめとするさまざまな機関との連携を通じて、BNCT のさらなる発展に取り組めます。

<リリースについて>

大阪医科薬科大学 総務部 企画・広報課

Mail: hojin-koho@ompu.ac.jp

TEL: 072-684-6817

FAX: 072-684-7100

2027年

大阪医科薬科大学 医学部

創立 100 周年

